



昭和飛行機工業株式会社

会社概要

商号	昭和飛行機工業株式会社 SHOWA AIRCRAFT INDUSTRY CO.,LTD.
設立	1937年（昭和12年）6月5日
資本金	49億円
代表者	代表取締役社長 田沼 千明
本社所在地	東京都昭島市田中町600番地
従業員	約400名
社有地	約130万㎡

沿革

1937年	設立
1938年	航空機の製造を開始
1955年	特殊車両（給油車など）の製造を開始
1961年	東京証券取引所市場第二部上場
1969年	米軍接收施設全面返還、パブリックゴルフ場営業開始
1981年	アラミッドハニカムの製造を開始
1984年	大型ショッピングセンター「モリタウン」オープン
2014年	TOBにより三井造船株式会社（現 三井E&Sホールディングス）の連結子会社化
2015年	モリパーク アウトドアヴィレッジ オープン

何をしている会社？

製造事業

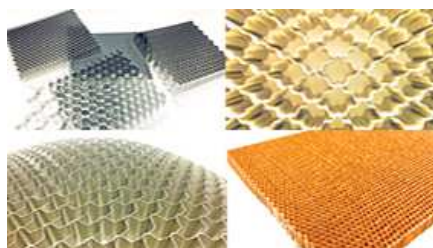
特殊車両の製造および飛行機、衛星などの関連機器の製造

不動産事業

昭島駅北口の広大な社有地の多角的な活用

サービス事業

地域社会活性化につながる様々なサービスの提供
ライフスタイルに関わる商品の販売



二つの特徴

ルーツである航空機製造で培ってきた高度な技術力

アルミ溶接技術の活用

特殊車両・航空機機体部品など

ハニカム構造物製造技術の活用

航空機機体部品・人工衛星部品など

昭島駅北口に広がる社有地を活用したまちづくり

昭和の森構想

商業施設「モリタウン」など

職・住・遊に関連する各種サービス

ゴルフ／テニス関連スポーツ施設など

大学生がインタビュー！

① 製造事業編

技術力への誇り

創立80年を超える同社。製造分野では、航空機製造で培った独自のアルミ加工／ハニカム構造物製造技術で世界に認められるモノづくりをされています。そこで、社員の方に、技術力への誇りと製品に込めた思いについて、インタビューを行いました。

－ 特装車の分野での貴社のポジションは？

- タンクローリーの国内シェアは約35%、アルミ小麦粉バルク車は100%です。

－ すごいシェアですが、強みは何ですか？

- 高いQCD（品質・コスト・納期）が一番ですが、顧客からのカスタマイズの要望に柔軟に対応している上、設計部分にも独自性をだし、ニーズに応える車両を設計開発して製品化しています。

－ 航空宇宙事業についてはどうですか。

- この分野への新規参入は活発ですが、認証取得のハードルがあり、現在も各社の得意領域ですみ分けしている感じです。
- 航空機関連の製品では品質だけでなく、従事者の資格や設備の配置などのプロセスも審査されます、長年にわたり培ったノウハウがあることが強みになっています。

－ ハニカム分野での貴社の位置づけと、ハニカムの用途を教えてください。

- アラミドハニカムのシェアは弊社を含む2社で製造し国内では約90%です。
- アルミハニカムコアは航空機用途、人工衛星、ロケットなどのへの使用が主ですが、産業機器や建築材料及び景観用としても使用されています。

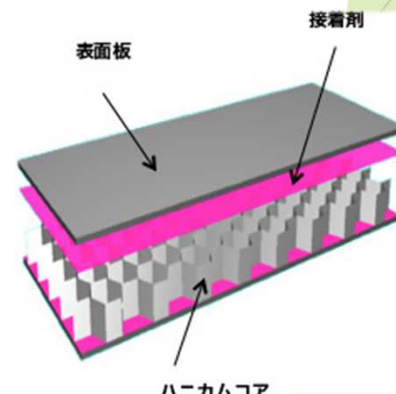
製造事業の未来

同社の製造事業は、「航空宇宙事業」と「陸上輸送事業」の2つに大分されます。どれもが、政府の「未来投資戦略」で取り上げられるほど、将来が嘱望される分野です。そこで、社員の方に、航空宇宙や陸上輸送の未来と自社との関係についてインタビューしました。

- 特殊車両製造において、将来的に実現される無人自動運転の影響をどうお考えですか？
 - 輸送の効率化や電気・水素といったエネルギーへの変革等、ニーズにあった輸送機器ビジネスに挑戦しています。
 - 実際、電動自動車に挑戦した事が非接触給電システムの開発にもつながりました。
- ハニカムは航空機以外にももっと多くの使用用途がありそうですが、いかがですか？
 - 現在はアラミドハニカムコアの使用用途の8割ほどが航空機関連です。その主な理由は仕様を満足する認定された材料を使わざるを得ず、そのコストが高いことです。なので、そのコストの圧縮を実現することで、幅広い分野での使用の可能性が生まれると考えています。
- 宇宙事業の可能性については、どう考えていらっしゃいますか？
 - 人工衛星の筐体は、各社より仕事を頂き製造していて、今後も成長分野であり得意領域を伸ばして行くところです。
 - 国内需要向けの国産衛星は、増えていくと思っています。



※非接触給電システム



※ハニカムの構造

大学生がインタビュー！

② 不動産・サービス事業編

地域への思い

昭和50年（1975年）に「昭島駅北側地区地区開発事業計画」がまとめられてから40年あまり。昭和の森は、同社の地域貢献・地域密着活動の場としても大きな役割を果たすようになり、地域にとっても重要な場になっています。そこで、社員の方に、昭和の森と地域とのつながりから見た、昭島周辺地域への思いをインタビューしました。

- 現在、昭島駅北側地区の第二期開発が進んでいるところかとおもいますが、どのような方向性なのでしょうか？
 - 第一期開発は市の活性化を狙い、商圈も限られたものでした。第二期開発では、もっと広いエリアから人を集め、「昭島スタイル」を発信していきたいです。
- 現在の土地開発を成功したビジネスモデルとして、別の新たな地域に同じようなまちづくりを行っていくという考えはありますか？
 - 昭島という土地とブランドに誇りをもっているので、現段階で別の地域での土地開発は考えていません。昭島に根を張り、今後も関係を続ける事が重要だと考えています。
- 地域の芸術振興にも力を入れられていて、中でも音楽のイベントは非常に長く続いているようですが、最初から狙われていたのですか？
 - 音楽は一度聞けば習慣になるので、当初から音楽のイベントに目を付けていました。最初はゲストを招いて聞いてもらうことが多かったのですが、段々と市民の皆様に演奏してもらう方向に変化しました。
- 確かに、様々なライブが行われていますが、地域の方はどなたでも参加できるのですか？
 - ありがたいことに参加応募が多く、オーディションでの選考をしています。そうする事でレベルが上がるとともに、LIVEが盛り上がり、地域の方々の参加意欲も上がって、催し自体の満足度が高まっていると考えています。

不動産・サービス事業の未来

昭島市は、総合戦略で「『住み続けたい』まちから、『訪れてみたい』、『住んでみたい』まちへ」という将来像を掲げています。そのような将来のまちづくりに対して、同社の不動産・サービス事業は大きな役割を果たすものと考えられます。そこで、社員の方に、昭島市の将来像と自社との関係についてインタビューしました。

－ 市で掲げられている「『住んでみたい』まち」との関係性を教えてください

- 保育園から老人ホームといった施設を建設し、生涯暮らせるまちを掲げた上で、昭和の森スタイルの少しとがったまちにすることが、住み続けたい街づくりにつながっていると思っています。

－ 2020東京五輪ではスポーツクライミングが正式種目として採用されて、アウトドアヴィレッジも注目度を高めるように思いますが、それを活かしたイベントなどは考えられていますでしょうか？

- オリンピックの前に、ラグビーワールドカップがありますが、昭和の森には、ラグビー場も備えているので、合宿所として使ってもらえるように手を挙げています。
- スポーツクライミングでは、昭和の森の施設は国際競技基準にのっとっていることで、日本山岳・スポーツクライミング協会から強化合宿所として指定されるまでになっています。
- アウトドア／スポーツをひとつの切り口として、昭和の森の求心力が高められれば、と考えています。



※モリパークアウトレットヴィレッジ

アウトドア用品の専門店やスポーツクライミング施設など、アウトドアに特化した施設が集まっている。

大学生の編集後記 ～企業紹介パンフレットを作って

モノづくりってすごい！

- ◆ 実際に製造している工場を見学することで、モノづくりにおける高い技術と一切の妥協をしない品質への拘りを感じることが出来ました。陸上輸送事業では大きな特殊車両が作られている過程を間近で見ることが出来、とても迫力がありました。航空機宇宙事業では、ハニカムというものを初めて知ることが出来ました。ハニカムは素材が紙やアルミなど色々ある上、形も用途によってとても多くの種類があり、これから無限の可能性を秘めたものだと感じました。（野田）
- ◆ 普段では見ることができない場所を見学させて頂き、私たちが日常で見かけているものがどのように作られているか見ることで、モノづくりのすごさを感じました。ローリー車の細かいところまで考え構造しているのは驚きました。また、ハニカムは想像していたより軽く頑丈で様々な場所で使用されていることに魅了されました。細かければ強度が強くなるとお聞きしたため、これから別の場所でも活躍できるのではないかと楽しみにしています。（蛸名）
- ◆ 工場見学に先立ってホームページを閲覧し、どのようなモノを製造しているのかを調べている時に、ハニカムに非常に興味を引かれました。実際に工場見学の時に、ハニカムの独特な製造工程を見学させてもらうという貴重な経験をさせて頂きました。ハニカムは建築や景観用としての用途もあるとのことなので、ハニカムの未来は明るいと感じました。（山口（雅））
- ◆ 昭和飛行機工業さんは今現在の日本だけではなく、未来の日本を見据えた事業を展開しているという事を強く感じました。航空事業や不動産業、サービス業などの多岐に渡る分野で事業を展開してくれているお陰で私たちの生活があるのだと思います。昭和飛行機工業さんの事業は、これからずっと日本の発展に欠かせない存在です。（志村）

地域はますます面白い！

- ◆ 昭和飛行機工業様の地域産業に関する事前学習とインタビューを通じて、昭島に対する誇りとこの地域に懸ける信念を感じました。「訪れたいまち」と「住んでみたいまち」の両方を実現するという高い目標に対して、地域の方々を第一に考え、何が出来るのかを模索した結果がこの昭島という土地に凝縮されていると思います。教育施設、商業施設、オフィスに介護施設まで揃っているので、生涯この町で暮らすことが可能ですし、アウトドア用品の専門店やスポーツライミングをはじめとした様々なアウトドアが実際に体験出来る施設もあり、私自身、訪れてみたいなと思いました。（内村）
- ◆ 事前学習だけでなく実際に訪れることで分かる昭島の良さがありました。昭島には大規模な商業施設があり、映画館や天然温泉施設があります。その他にもテニス、ゴルフ、スポーツライミングといったスポーツが体験出来る施設があるため、昭島に住めば事足りると思います。これには地域の方々が羨ましいと思った程です。個人的にはアウトドアブランドが17店舗もあるアウトドアヴィレッジはまた訪れたいと思いました。昭島は住むもよし、訪れるもよし。そんなまちでした。（山口（大））
- ◆ 昭島市にある昭和飛行機工業であり、昭和飛行機工業のある昭島市である、と思うほど、会社が地域に根付いていると感じました。様々な事業を通して、地域の人々や多国籍の人々などの交流の場になっていると思いました。（清水）



※昭和の森で開催される音楽祭や芸術家公募展の様子



本パンフレットは、昭和飛行機工業株式会社、多摩信用金庫、昭島市のご協力のもと、多摩大学佐藤ゼミの以下のメンバーが製作しました。

製作メンバー： 内村 翼、蛭名慎之介、清水健太、志村 凌、野田航平、山口大貴、山口雅弘